

精神科専門部会における救急現場からの意見

1 身体合併症を伴わない精神疾患について

- ・ 精神的に不安定や落ち着かない、眠れないといった理由で救急要請されることがある。
- ・ かかりつけ医に連絡するも受け入れてもらえないことが多い。
- ・ かかりつけ医と呼べるのは実際にはあまりいない印象である。
- ・ 平日夜間や土日祝日に照会する病院が事実として無い。
- ・ 救急隊は患者さんが病院行くのを控えますという意思表示がない限り、何としても病院を探さなければならない。
- ・ 去年も8時間ぐらい救急車の中で病院決まらなかった事案があった。
- ・ 行政の相談窓口と情報共有していて、要請があった場合は搬送、不搬送に関わらず各課に情報提供して解決策を探っているが、患者本人が引っ越すなどの結末になる以外解決したことがなく、非常に対処が難しい。

2 事務局としての対応

- ・ 身体合併症、精神科の既往のある意識障害あるいは判別困難に該当しない精神疾患の応需をお願いしたいと精神科専門部会より依頼されたことから、本救急部会にて消防の現状を報告。
- ・ 精神科専門部会の案を救急搬送実施基準検討会にて付議し、身体合併症、精神疾患既往のある意識障害、あるいは判別困難の項目追加についてお諮りした後に、必要に応じて協議を行っていく。

救急搬送実施基準に関する専門部会（精神科）名簿

分 野	所 属	氏 名	備 考
救急医	東北大学大学院医学系研究科救急医学分野 准教授	工 藤 大 介	
	仙台医療センター 統括診療部長兼救命救急部長	山 田 康 雄	
	仙台市立病院 救命救急センター	高 瀬 啓 至	
	みやぎ県南中核病院 救命救急センター救急科主任部長	野 村 亮 介	
精神科医	宮城県立精神医療センター 医療局長	大 野 高 志	
	青葉病院 副院長	永 嶋 弘 道	
	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 准教授	大 塚 達 以	
	仙台医療センター 精神科医長	菊 池 孝	
	仙台市立病院 精神科部長	佐 藤 博 俊	
消防機関	仙台市消防局警防部 救急課長	佐々木 隆弘	
	仙南地域広域行政事務組合消防本部 警防課長	阿 部 和 弘	
	大崎地域広域行政事務組合消防本部 警防課長	高 橋 勇 幸	
事務局	復興・危機管理部消防課		
	保健福祉部医療政策課		
	保健福祉部精神保健推進室		